

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸高等支援	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で 記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input checked="" type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	球技（ゴール型；バスケットボール）		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の学習に主体的に取り組む。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の課題を見直す。 ・合理的な走りのフォームを身につける。 ・課題解決の方法について、理解したことを発表したり書き出したりする。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1、2、3 年 4 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 意欲をもって体を動かすことを楽しみながら授業に取り組める生徒がいる一方で、運動への苦手意識、経験不足、または、ボディイメージの欠如から運動に関して消極的な生徒もおり、運動能力や意欲に差が見られる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 タブレット端末（iPad）		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 カメラ機能、写真フォルダ	アプリマーク  	
	主な活用の用途 (✓又は■で 記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	自分や仲間と動きの比較や客観的に自分の動きを見ることで正しい走りのフォームを身につける。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ iPad での動画の撮り方、角度の指導が必要。 ・ 10 人のグループに教師を 1 人配置する。 			